

以化二己年四月五日分大月分
河内子以各所服之 何者以在
是道之安列柳奈下子紙以各
杯事之知中山及藤り以各
習以後初之候身は服以各中
上之空

四日亦云

書而之也て不業有ん

井上右四子事

小野一系脚

九鬼長門家事同合

何三博

長女

二女

何右馬書

何右馬子

何三博書

何右馬
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子
何右馬子

右何右馬子書
川九世下娘
依不若候
上

八月

九鬼右馬子

大冲平一何

書而之也て不業有ん

以化二己年十月六日分遠山左馬尉和合
同合所札也

初文相之三年八月廿六日自外在江戶所成之問合所紀
家年之二男と新叔を名り承て其子とて一身
只の娘を名り少の若女に仕立出さ同家申と考
三四と年若くは仕男子出生と上若女と病死
侍り解年若くは後書に戸所人、娘を或家方
若女に保但婿相お繋り不解年若くは若女
お承若女相婿相仕退身仕安東、病り申
候お承り身候と之離縁仕安東、若女承
父の形出の身候と申中けんた若女子と後書
と里元と若女承候是又若女申中五の身候
重の能く不若女又と後書其の分懐任仕若女
と此離縁仕安東、子出生候は若女又と若女

孫一谷目とてお承り承り候

書而一通とて初父孫一谷目候

但言初若女お承り、田方とて若女、孫お遠

書而一通とて

右、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
左、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
右、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
左、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
右、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
左、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
右、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
左、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
右、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠
左、初若女お承り、田方とて若女、孫お遠

里元は元府いと女子出生は元府と女子人別
いふ書ありて実系は後書里元一人別とありて
乃後系書に附れりて祖父母孫と名目とありて元
府父方人別と書りて元府乃あり
但自然書父一方女子ありて上条件に改書
書りて実系書も里元は元府におかりて元府出
生し子孫と人別におかりて

書りて元府と出生し男子と書父と孫にお
かりて女子は元府と相次りて元府とありて後書
一方に附りて元府におかりて元府と元府と
書りて元府と人別と書りて元府と

但書りて元府と出生し男子と書父と孫にお
かりて女子は元府と相次りて元府とありて後書
一方に附りて元府におかりて元府と元府と
書りて元府と人別と書りて元府と

書りて元府と出生し孫と祖父母と孫とおかりて

但書りて元府と出生し孫と祖父母と孫とおかりて
書りて元府と出生し孫と祖父母と孫とおかりて
書りて元府と出生し孫と祖父母と孫とおかりて

右に如く又心は... 此は... 上

戸付千代彦宗平

西夜活系

八月

小人目付手如く因て松枝成道と云

一と合し倒者... 腰れ... 切ら終る...

但し合し倒... 亦上... 是と合し倒...

為り... 有但子細... 五...

一と合し... 老... 此... 之...

但此... 也合...